

パソコンを購入しようとチラシを見た時、専門用語が並んでいますね。今回はいくつかの言葉を覚えてみましょう！



チラシをみましょう

- * Core i7(2.80GHz)
- * メモリ：4GB
- * HDD：1TB
- * DVD スーパーマルチドライブ
- * 15.6 インチ
- * 64ビット
- * Office
- * ワイヤレス LAN

Core i7	高機能&高価格 動画編集
Core i5	一般向けの高機能 動画視聴
Core i3	価格も性能も標準 簡単な作業
Pentium	機能を抑えて低価格
Celeron	より機能を抑えて低価格
Atom	性能も消費電力も低い

チェックポイント

CPU (プロセッサ)	PCの頭脳に当たり、高性能のPC。数字の大きい方が動作が速い。 ※ CPUの種類：Core i7, Core i5, Core i3, Pentium, Celeron, Atom GHzは数字が多いほど処理が速く性能が良い。(1秒間に何回処理するか)
メモリ (RAM)	PCが働くための作業領域。メモリが多い程一度にできる作業量が多くなる。データを一時的に記憶するところ。4GB以上を選ぶといいですね。
HDD・SSD (ストレージ)	PCで使うシステム(OS)とアプリ,作成したデータを保存しておく保存装置。 容量(GB)が大きいほど沢山保存できる。 SSDはHDDに比べて高速で静か。HDD比 高価ですが お奨め ・速くて快適なPCがいい場合は SSD 240~512GBを ・それなりでとにかく安くという場合は HDD~512GB
Microsoft Office	マイクロソフトのOfficeが入っているかどうか? 要注意： King soft office 搭載機は避ける
15.6 インチ	ノートPCの液晶サイズの事。12インチ以下、13.3インチ、15インチ以上 ・15.6型はバッテリーのみで利用する場合：時間が短い商品に注意。電源コンセント使用なら気にする必要なし。
DVD マルチドライブ	光学ドライブが使えます。(CDの読み書き、DVDの読み書きができます。) レンタルDVD再生にも使えます
64ビット	32ビットと64ビットがあり、CPUの違いです。圧倒的に64ビットが有利。激安パソコンでも32ビットは買わないで！
ワイヤレス LAN	Wi-Fi(無線LAN)機能が内蔵されているという事。家ではプロバイダー契約とWiFi親機 外では公衆無線LAN ポケットWiFiなどが必要です

CPUとメモリを調べる方法

・スタート⇒設定⇒システム⇒バージョン情報⇒プロセッサ、RAMを確認

HDDを調べる方法

・スタート⇒設定⇒システム⇒ストレージ⇒ストレージを確認

Microsoft Officeが入っているかを調べる方法

- ・Cortanaの検索窓に「Word」と入力⇒入っていれば「Word」または「Word2016」と表示されます。
- ・Word起動⇒ファイル⇒アカウント⇒他のOfficeの情報も確認できます。